

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【公開番号】特開2016-10701(P2016-10701A)

【公開日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-005

【出願番号】特願2015-156143(P2015-156143)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

矩形開口を有する枠体に対して前側に開閉可能な開閉体と、
前記開閉体の外側に発光可能な枠発光部が備え付けられた遊技機であって、
遊技者に有利な遊技状態を付与するか否かの抽選を行う抽選手段と、
前記遊技状態に応じた演出画面を表示する表示装置と、
前記表示装置の周縁の所定位置に配置された第一可動体と、
該第一可動体を所定の通常位置と前記演出画面の前面である出現位置との間で移動させる第一駆動機構と、
前記第一可動体とは異なる位置に配置された第二可動体と、
前記出現位置に接近した所定位置であって遊技者によって前記第二可動体が視認される第一位置と、前記出現位置に対して該第一位置よりも離れた所定の第二位置との間で前記第二可動体を移動させる第二駆動機構と、
を備え、
前記表示装置における所定の表示領域を遮っていく態様で、前記第一駆動機構による前記第一可動体の前記通常位置から前記出現位置への移動と前記第二駆動機構による前記第二可動体の前記第二位置から前記第一位置への移動とが連動して行われ、
前記第一可動体が前記通常位置から前記出現位置に移動し、前記第二可動体が前記第二位置から前記第一位置に移動した際、
該第一可動体と該第二可動体とが一体となった演出態様として認識可能にされるものの、当該第一可動体と当該第二可動体とは互いに接触しないように配置され、
前記第一可動体と前記第二可動体とによって前記一体となった演出態様が現れたときには、前記抽選手段によって前記有利な遊技状態に制御される抽選結果が得られている期待を高めるように構成されており、
前記第一可動体と前記第二可動体とが前記演出画面の前面にあるものの、当該演出画面の一部は該第一可動体及び該第二可動体によって遮られることなく遊技者によって視認可能であり、
さらに、前記第一駆動機構による前記第一可動体の移動に関して移動度合いを制御する移動制御手段と、
前記第一可動体が前記出現位置に移動された際には、前記演出態様を変化させ得る態様

変化手段と、

前記第一可動体を前記出現位置に移動させる際、該移動させるよりも前の前記枠発光部の枠発光態様および当該第一可動体に備え付けられた可動体発光部による可動体発光態様のそれぞれに変化を与えるかたちで発光させる枠一体発光手段と、

前記開閉体に備え付けられた入力装置への入力が受け付けられると前記枠発光部の枠発光態様を変化させうる入力対応実行手段と、を備える

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第一可動体が所定軸周りに回転可能とされ、

前記第一駆動機構は、前記第一可動体が前記出現位置にあるときに、該第一可動体を回転駆動させる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記表示装置は、液晶表示装置である請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

[適用例 1]

矩形開口を有する枠体に対して前側に開閉可能な開閉体と、

前記開閉体の外側に発光可能な枠発光部が備え付けられた遊技機であって、

遊技者に有利な遊技状態を付与するか否かの抽選を行う抽選手段と、

前記遊技状態に応じた演出画面を表示する表示装置と、

前記表示装置の周縁の所定位置に配置された第一可動体と、

該第一可動体を所定の通常位置と前記演出画面の前面である出現位置との間で移動させる第一駆動機構と、

前記第一可動体とは異なる位置に配置された第二可動体と、

前記出現位置に接近した所定位置であって遊技者によって前記第二可動体が視認される第一位置と、前記出現位置に対して該第一位置よりも離れた所定の第二位置との間で前記第二可動体を移動させる第二駆動機構と、

を備え、

前記表示装置における所定の表示領域を遮っていく態様で、前記第一駆動機構による前記第一可動体の前記通常位置から前記出現位置への移動と前記第二駆動機構による前記第二可動体の前記第二位置から前記第一位置への移動とが連動して行われ、

前記第一可動体が前記通常位置から前記出現位置に移動し、前記第二可動体が前記第二位置から前記第一位置に移動した際、

該第一可動体と該第二可動体とが一体となった演出態様として認識可能にされるものの、当該第一可動体と当該第二可動体とは互いに接触しないように配置され、

前記第一可動体と前記第二可動体とによって前記一体となった演出態様が現れたときには、前記抽選手段によって前記有利な遊技状態に制御される抽選結果が得られている期待を高めるように構成されており、

前記第一可動体と前記第二可動体とが前記演出画面の前面にあるものの、当該演出画面の一部は該第一可動体及び該第二可動体によって遮られることなく遊技者によって視認可能であり、

さらに、前記第一駆動機構による前記第一可動体の移動に関して移動度合いを制御する移動制御手段と、

前記第一可動体が前記出現位置に移動された際には、前記演出態様を変化させ得る態様変化手段と、

前記第一可動体を前記出現位置に移動させる際、該移動させるよりも前の前記枠発光部の枠発光態様および当該第一可動体に備え付けられた可動体発光部による可動体発光態様のそれぞれに変化を与えるかたちで発光させる枠一体発光手段と、

前記開閉体に備え付けられた入力装置への入力が受け付けられると前記枠発光部の枠発光態様を変化させうる入力対応実行手段と、を備える

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】